

体感型脱出ゲームとは？

設定された空間に置かれた様々なヒントやメッセージなどを元にして、
「制限時間内に、全ての謎を解き、その空間から脱出する」という謎解きをメインに据えたコンテンツ。

難易度や対象年齢は、企画に応じて設定、基本的には数名の仲間や家族で協力し合い、散りばめられた謎を解き、「ミッションクリア」を目指します。2007年に産声をあげ、今や若い世代を中心に全国的人気となったコンテンツ。



エンターテーメントと防災教育の融合。新型防災教育 「体感型 防災アトラクション」

「防災教育」といっても、「これまで学校などで防災教育を受けたことがあるか」の質問には、多くの人が「避難訓練をやった程度」としか答えない。
もちろん、学校や地域、職場などで熱心に取組んでいるところ、家庭によってはかなりの備えをしているところもあり、一概にはいえないが、他の教科の「教育」に比べて明らかに少ないだろう。

■防災訓練 現状（内閣府 防災情報のページより抜粋）

■防災アトラクションは、発災時のリアルな予行演習

防災、減災を推進するために、リアリティあふれる予行演習は生きた経験となることは、体育大会の予行演習や、受験前の試験、運転免許の実施訓練など、様々な場面でも当てはまることがあります。
そこで我々は、「百聞は一見に如かず」の教えに習い、災害発生時を安全な環境で再現、臨場感あふれる体験から学ぶことを構築。「楽園」の環境を最大限に活かした、新たな防災教育プログラムの一つとして「体感型 防災アトラクション」をスタートしました。

「体感型 防災アトラクション」の構造

■人による演出



まずは、発災時に必要な「自助」「共助」「公助」の意義や様々な災害についてレクチャーを受けます

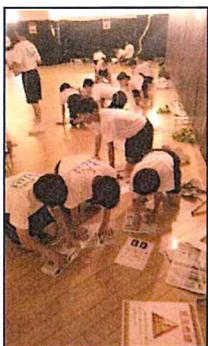
■映像や音響を駆使し、臨場感を創出



災害発生の報道映像が流れ、安全確保までの制限時間が宣告されます

迫り来る時間の中、仲間と共に協力し合い、全ての情報を集め、身の安全を確保することを目指します。

■災害発生時に必要となる、知識や知恵を体験



「楽園」の恵まれた環境を活かし、災害時に必要となる知識・知恵を楽しみながらも自然に体験して、学んでいきます。

防災アトラクションが提供しているもの

見ているだけの訓練や、レクチャー的な訓練ではなく、[参加型体験学習](#)として提供しております。そこで得られる効果の主なポイントは

- ・「会話による、伝える、主張する、などのコミュニケーション力の向上」
- ・「仲間や、グループで行事による、パートナーシップの強化」
- ・「目の前にあるものを工夫して、安全を創りだす、創造力の発揮」
- ・「時間内に、自分たちの安全を確保するため戦略の構築」
- ・「全体をまとめる、リーダーシップの育成」

など、制限時間の中での体験を通して、防災知識を学んでいく構造となっています。

こんなところで喜ばれています

- 小学高学年・中学校・高校の社会見学旅行
- 企業の防災研修
- 企業の福利厚生レクレーション
- 各自治体・各種団体の防災研修